

日本医史学会会報

51号 (復刊)

平成27年10月30日

第117回日本医史学会総会・学術大会開催のご挨拶	会-1
第116回日本医史学会学術大会印象記	会-2
第116回日本医史学会学術大会 会員大会	会-4
平成26年度関連医史学団体報告	会-11
雑報 (寄贈本リスト)	会-19

第117回日本医史学会総会・学術大会開催のご挨拶

大会会長 山崎 正寿

第117回日本医史学会総会・学術大会は名誉会長を原田康夫元広島大学学長に就任していただき、平成28(2018)年5月21日(土)・22日(日)の2日間にわたり、新装なった広島県医師会会館(広島駅近隣)で開催することになりました。

広島での日本医史学会学術大会の開催は、30年前に名誉会長の原田先生が会長で開かれて以来です。今回私が広島大会の会長を務めますのは、小曾戸洋日本医史学会理事長より、広島出身の江戸時代の名漢方医・吉益東洞の顕彰会を私が長く続けていることからだと思っておりますが、広島県はこの吉益東洞を始めとして恵美三白、土生玄碩の出生地でもあり、伊澤蘭軒などの漢方医との関わりがあります。さらに日本医史学会創設に関わった呉秀三先生や富士川游先生の出身地でもあります。このことより、「吉益東洞ほか、広島県先賢の事蹟」を大会のテーマといたしました。

特別講演として富士川游先生のお孫さんにあたられます富士川義之先生に、「富士川游先生について」お話しをいただく予定です。会長講演は「吉益東洞と瀧鶴台について」、吉益東洞を生んだ思想的背景について話させていただきます。シンポジウムとして、江戸時代の眼科医土生玄碩について奥沢康正先生に、福山藩藩医の伊澤蘭軒については町泉寿郎先生に、そして精神医学者また医史学者として高名の呉秀三先生については岡田靖雄先生にお話しいただくことにいたしました。

また戦時中、広島県竹原市大久野島の毒ガス製造工場の健康被害について、広島大学医学部が長年健康調査や健診を行ってきました。広島大学医学部の河野教授から、その「毒ガス障害研究の歴史」をお話しいただきます。また広島市は、先年の大戦の原爆被害と医学との関わりは切り離すことができません。原爆被害の研究については、放

射線影響研究所の児玉先生より、市民公開講座でお話しをいただくことになりました。また市民公開講座では、広島県の生んだ星野良悦の木骨について、広大名誉教授の片岡先生からお話しをいた

だきます。

多彩な内容を含む大会であります。多くの会員の方々の参加、発表を心より願っております。どうぞ皆様方のご来広をお待ちしております。

第116回日本医史学会学術大会印象記

山崎 正寿

漢方京口門診療所

大阪・船場のクラシックな建物の日本綿業倶楽部（重要文化財指定建築物）にて開かれた第116回日本医史学会学術大会は平成27（2015）年4月25、26日と2日間にわたり、80の一般講演と会長講演、基調講演、市民公開講座が行われた。参加者は事前登録が107名、当日参加者が96名の203名で、スタッフを加えて約250名であった。

大会の初日の開会前に、中之島公園にて「華岡合水堂碑」除幕式が、医史学会と第29回日本医学会総会関西との合同にて執り行われた。今回の大会は公益財団法人武田科学振興財団杏雨書屋、大阪大学適塾記念センター、くすりの道修町資料館などの後援で行われ、展示会場として杏雨書屋で所蔵する文献・絵画を見学することができた。

「華岡合水堂」が紀州の「春林軒」の分塾として、華岡青洲の末弟鹿城によって、1816（文化13）年大阪の地に設立され、青洲の養子である南洋が支えたとある。同時代の緒方洪庵の適塾の設立が1838（天保9）年であって、適塾よりも早く医学教育を始め、漢方と蘭方とを教育して、全国から集まった数多くの医者を育てたといわれる。南洋没後200年を記念して、大阪中之島の地にこうした「華岡合水堂」顕彰碑が建立されたことは意義深い。

小曾戸洋理事長の会長講演は、今大会を後援された武田科学振興財団杏雨書屋について「杏雨書屋のコレクション」という題でその歴史を述べられた。現在、4万余点約15万冊の和漢洋の古典籍が収蔵されており、医薬典籍としては世界一と

いえるとのことであった。杏雨書屋は大正末の武田長兵衛によって創始された個人蔵であったが、多くの著名人の寄贈或いは蒐集によって貴重な古典籍が集められた。京大教授で東洋史の泰斗内藤湖南の国宝・重文の蔵書、藤波剛一の乾々斎文庫、佐伯理一郎、中尾万三の蔵書も入り、近年では大塚敬節、石原保秀、小曾戸家などからの蔵書が入った。誠に貴重なものと言わざるをえない。

基調講演は、弘前大学名誉教授（麻酔科学）の松木明知氏であった。長年華岡青洲について研究を続けられてきた松木氏は、世界初の全身麻酔による乳癌手術を行った華岡青洲の麻酔について詳しく述べられた。全身麻酔という方法は、1804（寛政8）年始めて全身麻酔下で乳癌手術を行う8年前に、十数人のボランティアに麻酔薬を投与して成功している。極めて慎重に行ったことが分かるという。また実際の手術も第2例と第3例の間が1年3ヶ月も空いていて、これも手術の反省をしながら慎重に行っていたことが分かると言われる。こうした乳癌の手術成績は、140名中33名は平均して52ヶ月生存したことが分かり、大変な好成績であったという。また青洲の用いた全身麻酔薬は「麻沸散」と称され、「通仙散」という言葉はあまり使われていないということであった。華岡青洲の実績を詳しく調べられた研究に、改めて青洲の偉大さを知ることができた。

市民公開講座は、「くすりの道修町資料館」館長の深澤恒夫氏の「道修町の今昔」、大阪市立大学医学部の田中祐尾氏の「近世大阪の医学一村落

への浸透と継続」, 二松学舎大学の町泉寿郎氏の「漢蘭折衷の医学」という三演題であった。特に町氏の「漢蘭折衷」についての考察は大変興味深く, 富士川游の説を引用して, 漢方の古方家(吉益流)は, 実験によってその説を立つべきことを主張し, 漢・蘭の医説を斟酌して, 産科, 刺絡, 眼科, 小児科にイノベーションもたらした。その一つが華岡青洲の「内外合一」であるという。漢蘭折衷にもいろいろな形があるとし, 当時は蘭方薬剤よりも漢方治療の方が優れていた点も指摘される。こうした内容は今日の漢方医学と現代西洋医学とのあり方についてもいろいろな示唆を与えるものであった。

一般演題にも興味深い講演も多くあったが, 一人では多くを聞くこともできず, いささか偏った観点からではあるが, 興味をひいた演題のいくつかを紹介したい。

東京医療学院大学の鈴木氏は, 我国における衛生隊は戊辰戦争に始まり, 政府軍(官軍)には医師と看護人が従軍していた。戦禍の激しさとともに重病人の移送には, 医師, 看護人, 人足が付き添い, 東京への移送が行われた。その看護人には女性も含まれており, 始めは家事・調理部門の仕事であったが, 次第に衛生隊の構成要員として, 医師の治療後の看護を担当するようになった。女性看護師の歴史として興味深いものであった。

北海道大学医療技術短大の鈴木氏は, アフリカでの医療活動を実践したドイツのシュバイツァー博士の行動は, 同じドイツの偉人ゲーテの生命観・医学観に基づいていること。ゲーテがその友人がハルツの山奥でうつ病の療養をしているのを見舞ったことから, シュバイツァーは牧師から医

師を志したこと。またゲーテ賞を受け, その記念講演でゲーテの詩を引用してヒューマンイズムの重要性を説いた。シュバイツァーはゲーテの作品から, 「生命の畏敬」「生を想え」という信念を揺るぎないものにした。シュバイツァーとゲーテに関係について大変興味深い発表であった。

くわたに内科の乗谷圭二氏は, 山脇東洋は古方派の後藤艮山を師とし, 吉益東洞を世に出した漢方医ではあるが, 洋学にも関わり, 1754年に官許のもとに我国最初の人体解剖を行ない「蔵志」を著した。17年遅れて, 1771年に杉田玄白も解剖を行ない「解体新書」を著した。また山脇東洋は気管に管を入れて生理実験を行っていた。日本最初の解剖が杉田玄白とすることに疑義を主張された。インパクトのある発表といえる。

順天堂大学の土屋氏は, 富士川游の晩年に於ける人間形成観を述べた。富士川游は「医術と宗教」で, 医術を行う上で, 宗教の心の発現が大切な役をなすものであるとし, 人間の完成には内観が重要であるとした。こうした宗教の心を発現した医家を, 江戸の古方家, 永富独嘯庵に見出したという。富士川游の心にせまる発表であった。

最後に国立保健医療科学院の逢見氏は, 「地域健康指標としての生命表の精度」という題で, 沖繩が長寿県として有名であるが, 乳児死亡率などを度外視した不正確な生命表によるところが多く, 精密な国税調査などによる完全生命表を以て再考しなければならないとのことであった。誤った生命表による調査を改め, また地方の医療内容の充実が寿命と大きく関係することを示した。

80の一般演題と18の誌上発表を含めた今回の学術総会は充実した, 印象深いものであった。

第116回日本医史学会総会 会員大会

去る平成27年4月24日(金)に社員総会が武田科学振興財団杏雨書屋で、25日(土)には会員大会が日本綿業倶楽部で開催されました。下記の報告が承認され、協議事項については、全ての議案は可決されました。

I. 報告事項(平成27年3月31日現在)

1. 平成26年度庶務報告

(1) 会員の動静

- ・ 入会者 43名
- ・ 退会者 38名

死亡会員 5名

上坂良子(平成26年7月5日逝去)

寺畑喜朔(平成27年1月21日逝去)

長門谷洋治(平成26年7月11日逝去)

白崎昭一郎(平成26年8月3日逝去)

戸出一郎(平成26年12月18日逝去)

都合退会 33名

- ・ 現在会員数 816名

正会員	751名	(内 団体会員 23名, 海外会員 46名)
学生会員	35名	名誉会員 8名
功労会員	19名	賛助会員 3名

(2) 受賞

平成26年5月31日 第26回矢数医史学賞

平成26年5月31日 第20回富士川游学術奨励賞

平成26年 鳥居篤治郎賞

いづみ たかてる
泉 孝英

すずきたつひこ あだちり え こ なみきたかお
鈴木達彦, 足立理絵子, 並木隆雄,

ひらさきよしろう はなわとしひこ
平崎能郎, 花輪壽彦

わく だてつじ
和久田哲司

2. 平成26年度事業報告

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第60巻第2・3・4号, 第61巻第1号 発行	
第115回日本医史学会総会 会長 ヴォルフガング・ミヒェル		九州国立博物館 (福岡県太宰府市)	平成26年5月31日(土) ~6月1日(日)
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 4, 10, 11月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同	
		鶴見大学会館	平成26年9月20日(土)
日本医史学会12月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同	
		順天堂大学	平成26年12月13日(土)
華岡青洲合水堂顕彰碑	共催	大阪市北区中之島	
神農祭	協賛	湯島聖堂	平成26年11月23日(土)
杉山検校生誕400年記念事業	協賛	(継続)	
医心方と京都の医学史展2014	特別 協力	護王会館護王神社	平成26年11月1日(土) ~3日(月)
東洞祭	後援	広島大学広仁会館	平成26年9月14日(日)
第24回漢方治療研究会	後援	ホテルグランドパレス (東京都千代田区)	平成26年9月28日(日)
日本薬史学会2014年会	後援	九州大学医学部百年講堂	平成26年11月22日(土)

3. 第27回矢数医史学賞選考委員会報告

新村^{しんむら} 拓^{たく}「日本仏教の医療史」(法政大学出版局)

4. 第21回富士川游学術奨励賞選考委員会報告

深瀬^{ふかせ}泰旦^{やすあき}「江戸幕府寄合医師 添田玄春の医学と医療」(日本医史学雑誌第60巻第3号掲載)

5. 関連医史学団体報告(資料A)

6. 国文学研究資料館の医学関連書のタグ付けワーキンググループについて

○国文学研究資料館の医学関連書のタグ付けワーキンググループの活動報告と今後の学会員への協力要請について説明された。

7. ウェブサイトの刷新について

○日本医史学雑誌公開に合わせてホームページを刷新し、日本医史学雑誌をウェブに公開し始めていることが報告された。

8. その他

II. 協議事項

第1号議案 平成26年度決算報告に関する件(資料1-2)

第2号議案 平成27年度事業計画案に関する件

事業名		内容	
日本医史学雑誌		第61巻第2・3・4号, 第62巻第1号 発行	
第116回日本医史学会総会 会長 小曾戸洋		日本綿業倶楽部 (大阪府大阪市)	平成27年4月25日(土) ~26日(日)
第117回日本医史学会総会 会長 山崎正寿	(準備)	広島国際会議場 (広島県広島市)	平成28年5月21日(土) ~22日(日)
第118回日本医史学会総会 会長 館野正美	(準備)	日本大学	平成29年
日本医史学会月例会		順天堂大学	1, 3, 5, 6, 10, 11月 第4土曜日
日本医史学会9月例会	共催	日本医史学会神奈川地方会秋季例会との合同 鶴見大学	
日本医史学会12月例会	共催	日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・ 日本看護歴史学会・洋学史学会との合同 順天堂大学	
華岡青洲合水堂顕彰碑	共催	大阪市北区中之島	平成27年4月25日(土)
医心方と京都の医学史展	特別 協力	護王会館護王神社	平成27年11月1日(日) ~3日(火)
東洞祭	後援	広島大学広仁会館	平成27年
神農祭	協賛	湯島聖堂	平成27年11月23日(月)
杉山検校生誕400年記念事業	協賛	(継続)	

○会員大会後に第118回日本医史学会総会会長予定の館野正美氏が辞退を申し出、退会した。

○会員大会後に以下の事業計画の追加があった。

解体新書展 [後援] 於・東洋文庫ミュージアム 平成28年1月9日(土)~4月10日(日)

ヒューマンケア心の絆プロジェクト2015 [後援]

「桑田衡平翁」生誕180周年記念展 [後援] 於・日高市総合福祉センター

平成28年6月23日(木)~27日(月)

第3号議案 平成27年度予算案に関する件(資料3)

第4号議案 役員の改選に関する件(資料4)

資料1

貸借対照表
平成27年3月31日現在

科 目	金 額	備 考
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	26,326	
預金	11,044,968	
流動資産 合計	11,071,294	
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産 合計	0	
(2) 特定資産		
特定預金	8,708,748	
矢数医史学賞基金	5,022,151	
富士川游学術奨励賞基金	1,566,732	
特定資産 合計	15,297,631	
(3) その他固定資産		
その他固定資産 合計	0	
固定資産 合計	15,297,631	
資産 合計	26,368,925	
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金	3,960,000	
預り金	22,522	
仮受金	5,001	
流動負債 合計	3,987,523	
2. 固定負債		
固定負債 合計	0	
負債 合計	3,987,523	
III 正味財産の部		
1. 一般正味財産		
正味財産 合計	22,381,402	

資料2

正味財産増減計算書

自平成26年4月1日

至平成27年3月31日

科目	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 会費収入	8,006,109	
② 助成金	0	
③ 寄付金	2,522,000	
経常収益計	10,528,109	
(2) 経常費用		
① 学会誌刊行費	4,088,997	
② 事業費	1,101,445	
③ 人件費	2,466,993	
④ 会議費等	181,830	
⑤ 旅費交通費	729,510	
⑥ 通信・運送費	149,202	
⑦ 事務費	7,962	
⑧ 支払手数料	150,000	
⑨ 医学会負担金	87,500	
⑩ 雑費	9,194	
経常費用計	8,972,633	
当期経常増減額 = (1) - (2)	1,555,476	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
① 受取利息	4,475	
経常外収益計	4,475	
(2) 経常外費用		
① 華岡青洲合水堂顕彰碑設立費用	2,575,161	
経常外費用計	2,575,161	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	-2,570,686	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	-1,015,210	
一般正味財産 期首残高	23,396,612	
一般正味財産 期末残高	22,381,402	
II 正味財産期末残高	22,381,402	

定款第31条に従い、平成26年度の資産及び会計について監査した結果、理事の職務執行に不備の点はなく、決算報告書は正確かつ妥当であることを認めます。

平成27年4月8日

監事

監事

資料3

平成27年度予算（案）

科目	決算	予算	備考
	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	8,006,109	8,000,000	
② 助成金	0	0	
③ 寄付金	2,522,000	1,900,000	※1
経常収益 計	10,528,109	9,900,000	
(2) 経常費用			
① 学会誌刊行費	4,088,997	4,200,000	
② 事業費	1,101,445	1,100,000	
③ 人件費	2,466,993	2,600,000	
④ 会議費等	181,830	60,000	
⑤ 旅費交通費	729,510	360,000	
⑥ 通信・運送費	149,202	150,000	
⑦ 事務費	7,962	30,000	
⑧ 支払手数料	150,000	150,000	
⑨ 医学会負担金	87,500	90,000	
⑩ 雑費	9,194	20,000	
経常費用 計	8,972,633	8,760,000	
当期経常増減額 = (1) - (2)	1,555,476	1,140,000	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 受取利息	4,475	4,475	
経常外収益 計	4,475	4,475	
(2) 経常外費用			
① 華岡青洲合水堂顕彰碑設立費用	2,575,161	1,096,200	
経常外費用 計	2,575,161	1,096,200	
当期経常外増減額 = (1) - (2)	-2,570,686	-1,091,725	
当期一般正味財産増減額 = 1 + 2	-1,015,210	48,275	
一般正味財産 期首残高	23,396,612	22,381,402	
一般正味財産 期末残高	22,381,402	22,429,677	
II 正味財産期末残高	22,381,402	22,429,677	

※1 寄付は190万円のうち華岡青洲合水堂顕彰碑に対応する寄付金は110万円

資料4

一般社団法人 日本医史学会 役員氏名 (五十音順・敬称略 ○は新任)

- 理事長** 小曾戸 洋
副理事長 坂井 建雄
常任理事 田中 祐尾, 真柳 誠, ヴォルフガング・ミヒェル
監事 蔵方 宏昌, 柳澤 波香
理事 ○青木 歳幸, ○猪飼 祥夫, 遠藤 正治, 川嶌 真人, ○佐藤 裕,
 澤井 直, 新村 拓, ○鈴木 晃仁, 園田 真也, 西巻 明彦,
 ○町 泉寿郎, 松木 明知, 松下 正明, 横山 巖, ○渡部 幹夫
代議員 相川 忠臣, 岩崎 鐵志, 遠藤 次郎, ○逢見 憲一, 小形 利彦,
 ○郭 秀梅, ○亀田 一邦, 上林 茂暢, ○黒川 達郎, ○小林 健二,
 渋谷 鉦, ○島田 達生, 志村 俊郎, ○鈴木 達彦, ○鈴木 則子,
 関根 透, 瀧澤 利行, ○館野 正美, 月澤美代子, 寺澤 捷年,
 ○中澤 淳, ○永島 剛, ○長野 仁, 橋本 明, 花輪 壽彦,
 葉山美知子, 樋口 輝雄, ○平尾真智子, ○平松 賢二, ○松田 隆秀,
 宮川 浩也, 山内 一信, ○山崎 正寿, 山田 和夫
名誉会員 石原 力, 奥沢 康正, 蒲原 宏, 酒井 シヅ, 杉田 暉道,
 高島 文一, 高橋 文, 深瀬 泰旦
功労会員 会田 恵, 青木 國雄, 青木 允夫, ○赤祖父一知, 荒井 保男,
 小田 皓二, ○片桐 一男, 加藤 四郎, 唐沢 信安, 小林 晶,
 島田 保久, 高橋 昭, 立川 昭二, 友吉 唯夫, 中橋 彌光,
 原田 康夫, 藤倉 一郎, 正橋 剛二, 松尾 信一, 山田 光胤,
 山之内外一
編集委員
 (委員長) 坂井 建雄
 (委員) 天野 陽介, 逢見 憲一, 澤井 直, 永島 剛, 松村 紀明,
 渡部 幹夫

(資料A)

平成26年度 関連医史学団体報告

北海道医史学研究会 事業報告

今年度は、日本葉史学会北海道支部の解散の影響もあり、事業活動はございませんでした。来年度に向けては現在検討中となっております。

新潟支部 報告

今年度は支部としての例会、研究発表は行われなかった。支部事務局の所在は従来どおり、日本歯科大学新潟生命歯学部医の博物館である。

平成26年度(2014年)中の支部会員の学会発表などは次の通りである。

1) 学会・研究会などでの発表

- ①第115回日本医史学会総会(5月31～6月1日 福岡県大宰府市・九州国立博物館)
- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 緒方春朔にみる伝染概念の考察 | 西巻明彦 |
| 荻野吟子の医術開業免状下付願—東京都公文書館蔵『明治十八年回議録』より— | 樋口輝雄 |
| 近世の医家が病家へ向けて著した教訓書『病家教訓草』(1871)(紙上発表) | 平尾真智子 |
- ②日本医史学会関西支部2014年秋季学術集会(11月9日 大阪市阿倍野区・大阪市立大学)
- | | |
|--------|------|
| 漫遊雑記再考 | 西巻明彦 |
|--------|------|
- ③第42回日本歯科医史学会総会(10月4日 東京都文京区・ガーデンパレス)
- | | |
|---|------|
| 吉備大臣入唐絵巻にみる口腔観 | 西巻明彦 |
| 緒方春朔にみる中国伝統医学 | 西巻明彦 |
| 臍帯切断と歯との関連 | 西巻明彦 |
| Land Ethics と風土との関連性の考察 | 西巻明彦 |
| 東京市歯科医師会設立申請書 | |
| —東京都公文書館蔵『明治43年文書類纂・衛生』より— | 樋口輝雄 |
| 1830年代アメリカの衛生啓蒙書: W. A. オールコット著 “The House I Live In” | 樋口輝雄 |
- ④日本看護歴史学会第28回学術集会(9月6～7日 岐阜市・岐阜大学)
- | | |
|----------------------------------|-------|
| 賀川豊彦『看護婦崇拜論』(大正15年)イエスの友看護婦ミッション | 平尾真智子 |
|----------------------------------|-------|
- ⑤日本医史学会1月例会(1月25日 東京都文京区・順天堂大学)
- | | |
|-----------------------|------|
| 19世紀初頭の日本における「温疫論」の受容 | 西巻明彦 |
|-----------------------|------|
- ⑥日本医史学会4月例会(4月26日 東京都文京区・順天堂大学)
- | | |
|---------------------------------|-------|
| 三宅建治『日本居家秘用』(1737)と徳川吉宗の医療・教育政策 | 平尾真智子 |
|---------------------------------|-------|

2) 著作ならびに論文等

- ・整形外科の歴史(199)～(210) アメリカ整形外科の近代化。 蒲原 宏
- ※“整形外科の歴史”は『整形外科看護』19巻1号～12号(2014年1～12月)に連載
- ・豊田秀吉は右手の多指症だった, 新潟県医師会報, 第773号, p.30. 蒲原 宏
- ・一村医の戦場での軌跡, 新潟市医師会報, 第523号, p.12. 蒲原 宏
- ・孟子はバネ指を知っていた, 新潟市医師会報, 第524号, p.24-25. 蒲原 宏

- ・ 田島達也名誉教授のことば Better than Nothing,
新潟大学医学部整形外科学教室同窓会誌, 第62号, p.53-55. 蒲原 宏
- ・ 北区内島見・近藤家文書について その三 近藤文泰と大森寿庵(一),
新発田郷土誌, 第42号. 広瀬 秀
- ・ (日本看護歴史学会編) 日本の看護のあゆみ—歴史をつくるあなたへ,
日本看護協会出版会, p.158-166. (共著) 平尾真智子, 草刈淳子, 芳賀佐和子
- ・ 三宅建治『日本居家秘用』(1737)にみる大阪庶民の看病,
看護歴史研究, 第7号, p.24-33. 平尾真智子
- ・ 田代基徳と高木兼寛—近代看護学の導入に貢献した二人の九州人,
(ミヒェル・ヴォルフガングほか編) 医家史料館叢書XIII, p.1-16. 平尾真智子
- ・ 江戸時代中期の教訓書『病家教訓草』にみる病家のための教訓,
医譚, 第100号, p.153-171. 平尾真智子

〒951-8580 新潟市中央区浜浦町1-8 日本歯科大学新潟生命歯学部 医の博物館内
電話 025-267-1500 FAX 025-267-1134 日本医史学会新潟支部(樋口輝雄)

北陸医史学会 総会・例会報告

1. 会務報告

- (1) 新入会員2名: 尾碓紀之, 横川善正
- (2) 会員数: 35名(平成26年7月6日現在)
- (3) 第35回例会開催: 平成25年7月7日(日) 金沢医科大学アナトミーセンター
- (4) 北陸医史第36号発行: 平成26年2月20日(木)
- (5) 幹事会・連絡会: 平成26年3月23日(土) ホテル金沢北の庄

2. 会計報告

- (1) 平成25年度決算

【平成25年度決算】

(平成25年3月27日~平成26年3月24日)

収入(円)		備考	支出(円)		備考
会費	80,000	5,000×16	北陸医史印刷費	173,775	振込手数料含む
別刷代	6,000		別刷印刷費	6,630	振込手数料含む
利息	120				
その他	3,000				
前年度繰越金	675,304		次期繰越金	584,019	
合計	764,424		合計	764,424	

(2) 平成26年度予算

【平成26年度予算】

収入（円）		備考	支出（円）		備考
会費	90,000	5,000×18	北陸医史印刷費	120,000	
別刷代	9,000		別刷印刷費	9,000	
前年度繰越金	584,019		学会開催費	23,000	謝金等
			事務費	10,000	通信費等
			次期繰越金	521,019	
合計	683,019		合計	683,019	

3. 事業計画

- (1) 第26回例会開催：平成26年7月6日（日） 金沢大学医学図書館十全記念スタジオ
- (2) 北陸医史第37号発行：原稿投稿は平成26年11月末締切、乞期日厳守。
（株）前田書店（金沢市石引）から発行の予定

日本医史学会神奈川地方会

第43回日本医史学会神奈川地方会秋季例会と日本医史学会9月学術例会と合同例会

日 時：平成26年9月20日（土）

場 所：鶴見大学会館・第三会議室

総 会

1. 荒井保男会長挨拶
2. 平成26年度会計報告

特別講演

日本看護史学会長 川嶋みどり氏 「歴史から学ぶ看護の力」

一般講演

1. 柏木政伸氏 「献体解剖第一号の執刀医を特定した『三田村多仲文書』とは？」
2. 萩庭一元氏・福嶋弘栄氏 「医療訴訟の歴史」

教育講演

日本医史学会神奈川地方会元会長 滝上 正氏 「緑膿菌の病原的意義の変遷」

第44回日本医史学会神奈川地方会春季例会

日 時：平成27年3月14日（土）

場 所：鶴見大学会館・第204教室

総 会

1. 荒井保男会長挨拶

一般講演

1. 杉田暉道氏 「葬式仏教」
2. 長岡朋人氏・平田和明氏 「古人骨から見た中世鎌倉の人々の生老病死」
3. 鈴木紀子氏 「看護技術の歴史から学ぶ一水蛭療法と看護一」

特別講演

日本医史学会監事 柳澤波香氏 「英国病院医療の源流—慈愛のなせる業(わざ)」

日本医史学会神奈川地方会事務・鶴見大学歯学部人文研究室内(文責:関根 透)

東海支部 報告

下記講演会の後援活動を行った。

『伊藤圭介日記』(第20集)出版記念会 一洋学史学会 11月例会共催一

平成26年11月23日(日)午後1時~4時15分

(於名古屋市東山植物園植物会館研修室)

【記念講演】

明治前半における小石川植物園の植物栽培施設について	坂崎信之氏
シーボルトコレクション中のアケビ科標本について	加藤僖重氏
シーボルト・伊藤圭介「日本植物目録」とその標本について	遠藤正治氏・加藤僖重氏
「救荒本草私考」と伊藤圭介	杉村啓治氏
飯沼慾斎の山本読書室宛て新出書簡の紹介	遠藤正治氏
飯沼慾斎についての牧野富太郎聞き書き	田中純子氏
江馬細香稿「癖石一塊」について	財部香枝氏
伊藤篤太郎研究雑録(3)	岩津都希雄氏

(山内一信・高橋 昭)

関西支部 活動報告

▽日本医史学会関西支部2014年秋季大会(26年度春季は開催なし)

平成26年11月9日(日) 於・大阪市立大学医学部学舎 4階中講義室 共催:京都医学史研究会
〈一般演題〉

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| 1. ベルツ博士の遺言 | 山上勝久(大阪市立大学) |
| 2. 清華大学蔵戦国竹簡『説命』の「若葉弗瞑眩」考 | 猪飼祥夫(北里大学) |
| 3. 緒方郁蔵独笑軒塾設立年と郁蔵肖像画 | 古西義磨(除痘館記念資料室) |
| 4. 神谷美恵子・生誕100年 | 飯塚修三(いづか眼科) |
| 5. 修験道の祖「役行者」と大和の名薬「陀羅尼助」 | 吉條久友(大阪市立大学) |
| 6. 華佗内照図について | 三鬼丈知(大阪市立大学) |
| 7. 漫遊雑記再考 | 西巻明彦(日本歯科大学) |
| 8. 大阪府立医学校教諭佐多愛彦のドイツ留学 | 柳原正義(藤田保健衛生大学) |
| 9. ヨーロッパ医史学散歩 | 奥澤康正(奥澤眼科医院) |
| 10. 研医会図書館所蔵『眼科龍本論』と名付けられた眼科医書について | ○安部郁子, 園田真也(研医会) |
| 11. 『言経卿記』に登場する人物の医療記録について | 葉山美知子(横浜市) |
| 12. 観相と観察—日本における屍体解剖の黎明について | W・ミヒェル(九州大学) |
| 13. ポンペの持ち帰った天蚕(ヤママユ)種について | 相川忠臣(長崎原爆病院) |
| 14. 医師国家試験における東洋医学・医史学と一般教養的知識 | 松岡尚則(研医会) |

《紙上発表》

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. スウェーデンにおける病弱児に対する包括的支援 | 小野尚香(畿央大学) |
| 2. 「気まぐれ」考 | 小曾戸明子(おそど未病研究室) |
| 3. いわゆる『儒医』についての考察Ⅳ—生活・趣味 | 田中祐尾(大阪市立大学) |

《特別講演》

近代医学教育のあゆみ 演者 順天堂大学教授 坂井建雄

▽支部機関誌『醫譚』99号 平成26年6月30日発行

支部機関誌『醫譚』100号 平成26年12月20日発行

上述機関誌の掲載目次は関西支部メールアドレス(下記)をお開き下さい。

〒581-0003 大阪府八尾市本町5-1-7 田中医院内

日本医史学会関西支部事務局(田中祐尾)

☎: 072-922-2028 FAX: 072-993-1237 HP: <http://mhkansai.umin.ne.jp/>

京都医学史研究会 活動報告

平成26年度第115回日本医学史学会総会(於)九州国立博物館

平成26年5月31日~6月1日

一般演題

『延寿撮要』(曲直瀬玄朔)と『養生訓』(貝原益軒)の関連性について

葉山美知子 京都医学史研究会

第239回例会 平成26年10月9日(於)京都府医師会館

学術講演

講演 豊田久美子先生 京都看護大学 学長

題「これからの社会に期待される看護教育 —4年生看護学部はなぜ増えるのか—」

共催 京都府医師会, 京都医学史研究会

医心方 to 京都の医学史展2014(第22回医療文化史サロン展)

《主の展示品》

醫聖堂にある医家先哲122聖霊位の拓本

京都で十代続いた医家三宅家の系図

安藤精軒関係資料

日時 2014年11月1日(土)~11月3日(祝) 午前10時~午後5時(入場無料)

場所 護王会館 護王神社内

主催 京都大学人文科学研究所科学技術史研究室

京都府立医科大学社会科学研究室

京都医学史研究会

展示協力 明治国際医療大学臨床鍼灸学講座 今井賢治 教授

明治国際医療大学臨床鍼灸学講座 谷口 奨 助教

協力 日本医史学会 日本東洋医学会

後援 京都新聞 京都府医師会 醫道顕彰会

第240回例会 平成26年11月9日 (於) 大阪市立大学医学部学舎

(日本医学史学会関西支部秋季大会と共催)

《一般演題》

『言継卿記』に登場する人物の医療記録について

葉山美知子(京都医学史研究会)

『京一醫と鑿一史跡探訪』出版

平成27年2月11日発行

京都府医師会出版

第29回医学会総会医学史展ワーキンググループ協力

山脇東洋 墓参り及び献花

平成27年3月8日 日本医学会総会医史跡ツアー会員と合同

「盟親」山脇東洋視臓記念碑に献花(京都市中京区六角通)

誓願寺墓地 東洋墓・解剖供養碑供花(京都市中京区新京極)

真宗院 山脇東洋一族 墓参(京都市伏見区深草)

第241回例会 平成27年3月19日 (於) 京都府医師会館

学術講演

講師 大野照彦 教授 京都大学総合博物館館長

題「博物館で探る知性の進化と人の未来」

なお、京都医学史研究会発行の「啓迪」は平成26年度については『京一醫と鑿一史跡探訪』を京都府医師会、第29回医学会総会・医学史展の合同企画として平成27年2月11日に発行出版したために今年度は休刊し、来年度平成28年4月以降に第31号を発行の予定にしています。

〒604-8585 京都市中京区西ノ京梅尾町6 京都府医師会館内
京都医学史研究会 会長 中橋 彌光

広島医史学研究会 活動報告

日本医史学会広島支部・岡山医学史研究会 合同学術集会

日時 平成27年1月31日(土) 13時45分～

場所 広島大学医学部臨床講義棟 第4講義室

1. 日本医史学会広島支部総会

2. 日本医史学会広島支部・岡山医学史研究会合同発表会

座長 広島国際大学 千田武志

演題1. 太平洋戦争時のフィリピンにおける日本陸軍によるデング熱予防接種の研究

広島国際大学 隅田 寛

演題2. 京城帝国大学総長 志賀 潔について

くつろぎ苑(福山市) 石田純郎

座長 広島国際大学 隅田 寛

演題3. 元岡山県知事・三木行治医師の公衆衛生(4)

—三木行治と賀川豊彦の関係—

倉敷仁風ホスピタル 高木寛治

- 演題4. 麻酔とは 門前歯科医院 門前弘美
座長 倉敷仁風ホスピタル 高木寛治
- 演題5. インスリン製剤の変遷, 特に半合成ヒトインスリンの開発を巡って
一ゆがめられた日本の科学史一 元シオノギ研究所 森原和之
- 演題6. 西洋解剖学へのまなざし一星野良悦と大槻玄澤一
広島大学医学部附属医学教育センター 川和田晶子
- 演題7. 戦時期および戦後混乱期の広島の医療と県立広島病院の開院 広島国際大学 千田武志

3. 特別講演会

- 座長 広島大学 秀 道広
- (1) 江戸時代に制作された木骨一重要文化財 星野木骨(「身幹儀」)を中心に
広島大学名誉教授 片岡勝子
- (2) 地方からの幕末・明治移行期の医学
広島大学名誉教授 津下健哉

福岡地方会 活動報告

平成26年度福岡地方会は、第115回総会・学術大会開催(2014.5.31~6.1)と下記の通り2度の研究発表会を開催いたしました。次年度も例年通り、ほぼ同じ日程で2度の開催の予定です。

第25回 福岡地方会

開催日時:平成26年8月9日(土) 14時30分から
会 場:福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4丁目8-15)
参加者数:15名(発表者を含む)

【発表者・演題】

お名前 (五十音・一部変更)	演 題
黒木 俊秀	エニグマとドグラマグラ~稀代の怪奇小説の背景史~
小林 晶 W・ミヒエル	三木 栄先生について
権藤 寿昭	易経(中国思想の基本)と近代生物学(遺伝子学)との意外な類似性
佐藤 裕	Langerhansの主要2論文を読み解く
柴田 浩一	(資料配布)
中山 茂春	緒方洪庵が武谷棕亭(裕之)に宛てた書簡(安政4年12月20日) 一扶氏遺訓漢方病丈漸く相成り一
木村専太郎	賀川玄悦と美馬順三
仁保 喜之	第115回日本医史学会に於ける特別講演者 帚木蓬生氏 号泣についての考察
原 寛	十二代原三信(蘇仙)とその時代
丸山マサ美	九州大学生体解剖事件一女性ただ一人被告人一

第26回 福岡地方会

開催日時：平成27年2月21日(土) 14時30分から

会場：福岡ガーデンパレス(福岡市中央区天神4丁目8-15)

参加者数：22名(発表者を含む)

【発表者・演題】

お名前 (五十音・一部変更)	演 題
井口 潔	近代日本における病院医学と研究室医学 医学部学生のアカデミズム：わが青春を回顧して
W・ミヒエル	「医神保生大帝について」
小林 晶	第一次世界大戦時バリで活動した日赤 第四厚誼病院
権藤 寿昭	易聖・高島嘉右衛門・三瀬周三・伊藤博文, そして安重根・易経が結ぶ幕末~明治の人間群像
佐藤 裕	三浦梅園の「養生訓」の拾い読み
中山 茂春	緒方洪庵が武谷棕亭に宛てた書簡
原 寛	医学教育の変遷
木村専太郎	鑑真と観世音寺
丸山マサ美	九州大学史料研究—九州帝国大学医学部史料を中心として— 医療専門家の行動規範 — The National Archives & Records Administration, RG331, 外科医直筆文の一考察—
末松 孝文 (九州大学医学部 医学科5年)	九州大学耳鼻咽喉科学教室 初代教授 久保猪之吉研究を通じた医学生の学び

雑 報

寄贈本リスト

【単行本】

- 市原敬子 監修 鷹見本雄 『泉石と雪の殿様』 「岩波ブックセンター」 2014
- 圭介文書研究会編 『伊東圭介日記第二十集』 「名古屋市東山植物園」 2014
- 真柳誠 『黄帝医籍研究』 「汲古書院」 2014
- 渡邊洋子 『近代日本の女性専門職教育—生涯教育科学からみた東京女子医科大学・吉岡彌生』 「明石書店」 2014
- 『ヘルスリサーチ 20年—良い社会に向けて—』 「ファイザーヘルスリサーチ振興財団」 2014
- 藤倉一郎 『血圧測定の父—ニコライ・コロトコフ』 「近代文藝社」 2013
- 古西義麿 『緒方郁蔵伝—幕末蘭学者の生涯—』 「思文閣出版」 2014
- 研究代表者：青木歳幸，研究分担者：ミヒェル・ヴォルフガング，小川亜弥子，研究協力者：海原亮，三木恵理子，多久島澄子 『西南諸藩医学教育の研究』 「」 2015
- デイヴィッド・ライト著，大谷誠訳 『ダウン症の歴史』 「明石書店」 2015
- 片桐一男 『伝播する蘭学』 「勉誠出版」 2015
- 瀧澤利行，七木田文彦，竹下智美 『雑誌「養護」の時代と世界—学校の中で学校看護婦はどう生きたか—』 「大空社」 2015
- ミヒェル・ヴォルフガング，吉田洋一，大島明秀 共編 『中津市歴史民俗資料館 分館 医家史料館叢書 XIV人物と交流 IV』 「中津市教育委員会」 2015
- 浅田宗伯 編著，渡部浩二 翻字校注 『翻字校注 医学典刑』 「医聖社」 2015
- 片桐一男 『米沢藩医 堀内家文書 解題篇』 「米沢市医師会」 2015
- 片桐一男 『米沢藩医 堀内家文書 図版篇』 「米沢市医師会」 2015
- 鳥井裕美子 文・廣瀬剛 絵 『大分県先哲叢書 前野良沢【普及版】』 「大分県教育委員会」 2015
- 除痘館記念資料室編 『緒方洪庵の「除痘館記録」を読み解く』 「思文閣出版」 2015
- 鳥井裕美子 『前野良沢 生涯一日のごとく』 「思文閣出版」 2015
- 『医療の挑戦者たち』 「テルモ株式会社」 2015
- 『北里柴三郎博士の功績』 「テルモ株式会社」 2015
- 編者 森洋久 『角倉一族とその時代』 「思文閣出版」 2015
- 米田該典 『正倉院の香葉—材質調査から保存へ—』 「思文閣出版」 2015

【別 刷】

- 『コレクション紹介 大森文庫の価値について—華岡流医術の真髄とその地方伝播の実態を解明する鍵—』 梶谷光弘 「湊雲」 (17)
- 『華岡青洲 (3代随賢) 末裔 (本家) 所蔵の国別門人録について (4)』 梶谷光弘 「日本医史学雑誌」 60(3)
- 『岩崎宗右衛門尉へ伝授された醍醐流眼科書「眼病」について (翻刻)』 梶谷光弘 「古代文化研究」 (23)

【雑 誌】

- 『あいみっく』 35(4), 36(1-3) 国際医学情報センター
- 『BIBLIA』 (143) 天理図書館
- 『Chinese Journal of Medical History』 44(3-6), 45(1-3) Chinese Medical Association

- 『Chinese Medical Journal』127(17-24), 128(1-16) Chinese Medical Association
- 『だより(練馬区医師会)』(561-571) 練馬区医師会
- 『福井県医師会だより』(642-652) 福井県医師会
- 『北陸医史』(37) 北陸医史学同好会
- 『醫譚』(通刊117-118)(復刊100-101) 日本医史学会関西支部
- 『医道の日本』73(12), 74(1-10) 医道の日本社
- 『いわちどり(小笠医師会誌)』(42) 小笠医師会
- 『除痘館記念資料室だより』(7) (財) 洪庵記念会 除痘館記念資料室
- 『漢方の臨床』61(11-12), 62(1-10) 東亜医学協会
- 『漢方と鍼』39(1-2) 北里研究所東洋医学総合研究所だより
- 『神奈川県医学会雑誌』42(1-2) 神奈川県医師会
- 『杏雨』(18) 武田科学振興財団
- 『研究紀要』(9) 佐賀大学地域学歴史文化研究センター
- 『明治薬科大学研究紀要』(44) 明治薬科大学
- 『名古屋大学大学文書資料室紀要』(23) 名古屋大学大学文書資料室
- 『日本医師会雑誌』143(9-12), 144(1-7) 日本医師会
- 『日本歯科医史学会誌』31(1-2) 日本歯科医史学会
- 『鳴滝紀要』(25) シーボルト記念館
- 『労働科学』90(1-3) 労働科学研究所
- 『労働の科学』69(11-12), 70(1-9) 労働科学研究所
- 『STETHOSCOPE』(216-218) 日本医学切手の会会報
- 『斯文会々報』(74) 斯文会
- 『斯文』(126-127) 斯文会
- 『湘南史学』(24) 東海大学大学院日本史学友会
- 『適塾』(47) 適塾記念会
- 『洋学史研究』(32) 洋学史研究会
- 『北播磨探史研究会報』(15) 北播磨探史研究会